

吉田喜一
教授のつくり
もの工便り

荒川区南千住の産業遺産

都立産技高専 吉田喜一

私は現在産業考古学会の理事長を仰せつ

かっています。産業遺産（産業遺跡、技術記念物）に基づいて、技術文化を実証的に調査・研究する学会です。産業遺産を重要な文化遺産として保存研究する活動も行っています。産業遺産は人間が築いてきた過去の生産活動の痕跡を具体的に示し、同時に未来の産業発展に多くの展望と示唆を与えてくれます。その意味から、過去を照らし現在を見つめ未来のために、貴重な価値を持つ産業遺産は文化遺産の一つとして保存し、後世に伝えていく必要があります。

産業考古学会元会長で東京農工大名誉教授の金子六郎先生がかつて『東京の産業遺産「23区」』（1994年アグネ技術センター刊）という本を出版されました。

今回はその中の荒川区南千住にある産業遺産のいくつかをを抜粋して紹介します。日本の近代化を支えた産業遺産が身近にたくさんあることを知っていただければ幸いです。

●日本貨物鉄道隅田川貨物駅：明治30年

(1897) 4月開設、隅田川から『ドック』と

称した水路を引き入れ水路と鉄道を結びつける特徴ある貨物駅として発展した。潮止め貨物駅が廃止された現在この大貨物駅の存在自体が貴重なものである。

●胡録神社：この辺りは江戸時代から良質の胡粉の産地であった。

牡蠣殻を焼き、石臼で挽いて細かい粉にし人形・白粉・元結い等に用いられるものである。この神社の境内に、この地で使われ旧家に伝えられた石臼が大切に保存されている。

●真先銭座跡：江戸末期、天保通宝銭製造のために設置された。浅草の今戸にあった銭座が移転。維新になってからも旧幕時代の貨幣が製造され明治24年ころまで通用していた。区教育委員会の史跡説明板が建てられている。

●蘭学発祥の地：明和8年(1771) 杉田玄白・前野良沢・中川淳庵らは、ここ小塚原の刑場で解剖を見学して、オランダの解剖書の正確さに驚き、翌日から直ちに翻訳を始めた。4年の苦心の結果『解体新書』5巻を完成した。回向院に記念のレリーフが設置されている。

●千住製絨所跡：明治12年(1879)、井上省三によつてこの地に官営千住製絨所が設置され、日本の羊毛工業が発足した。陸軍の軍服を主として民需にも応じ、昭和20年(1945)まで70年にわたって操業を続けた。荒川工業高校の煉瓦塀のみが当時の遺産として残されている。



アーケード撤去から 見えてきた物は？

こんにちは。メガネのサトウ4代目です。今年もこのコラムをよろしくお願いします。

さて、すでにお気づきの方も多いと思いますが、当店のあるコツ通りは、歩道上の老朽アーケードが撤去されて雰囲気が一変しました。そのことで、様々な意見や感想が飛び交っています。「空が見えて明るくなった」「お店の懐かしい看板が見えるようになった」といった肯定的な声もあれば、「雨の日が不便だろうね」「夜の歩道が暗くて怖くなった」といった声もあります。

かつてコツ通りは、人々が行き交う南千住の「顔」でした。商店街は大家族の買い物場であり、昼は近隣に勤める労働者の食を支え、まさに賑やかな表通りだったそうです。やがて時代が下ると、街も人も生活様式も大きく様変わりしました。コツ通りの周囲では世帯人口が減り高齢化が進み、工場が消え、跡地はマンションや駐車場になりました。汐入地区に至ってはすべてを一新し、大勢の転入者で人口が急増しました。しかし、コツ通りだけは時代の変化を拒み、その結果すっきり寂れてしまいました。昔のことを生で体験していない私の目には、アーケードが「華やかなりし南千住・古き良き時代」の遺物のように映りました。

昔のまま、販売方法の見直しも改装も業種転換もせずに老朽化した店舗、誰に貸すわけでもなくシャッターが閉まったままの空き店舗、住

宅や事務所や空地に化けた店舗跡が目につくコツ通りは、買い物場としての賑わいが失われて久しく、人影も疎らです。店を営む立場として非常に残念な思いで一杯です。けれども、消費者として（私もそうですが）明るく綺麗で、多くの人で賑わい、品数豊富、安くて新鮮で、楽しさ・便利さを提供してくれる「いま」のスーパーやチェーン店を指向するのは、至極当然のことでもあります。

私は今回のアーケード撤去が、皆で「街」のことを見直すきっかけになり、コツ通りが生まれ変わる第一歩になってほしいと期待しています。コツ通りに面する地権者、商店主、テナント入居者、周辺の住民、行政、政治家の方々：それぞれがコツ通りに何を思い、何を考え、何をすべきで、何ができるのか？コツ通りに似合う街路樹や街路灯は？資金はどうする？コツ通りはもう一度商店街として再生を促すべきか、それとも駅に近い便利な住宅エリアとして転換を図るのか？

安全で住みやすく、下町らしいコミュニティを生かした愛着のある街を願うのは、皆の共通の気持ちだと思います。機会があれば、私も自分の思うところや意見を発表したいと考えています。

【消費生活アドバイザー】
佐藤 祐一郎



◆メガネのサトウ◆
南千住5丁目43の13【コツ通り】

TEL 03(3806)4930

★休業日のごあんない★

1月：25(火)

2月：3・10・17・24(毎週木曜)

★営業時間のごあんない★

平日(月・金)：AM 9時30分～PM 7時

土・日・祝日：AM 10時30分～PM 6時